

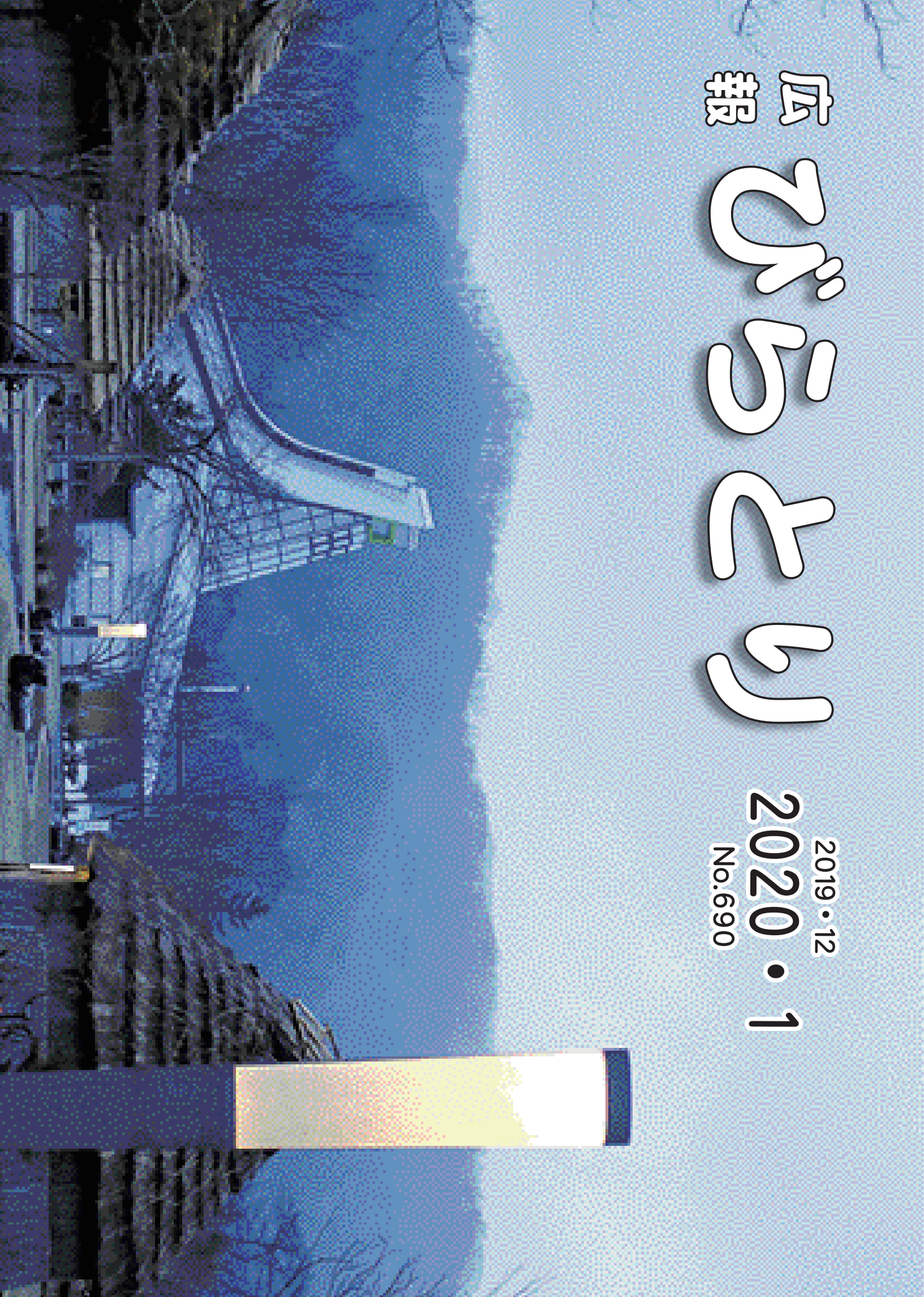
広報

びらとじ

2019・12

2020・1

No.690



★2019年を振り返る★

～memory～

- 1月**
 - ・消防出所式 成人式
- 2月**
 - ・初午祭
 - ・PKグランプリ
 - ・シシリムカ文化祭
- 4月**
 - ・櫛の実50周年記念祝賀会
 - ・町議会議員選挙
 - ・オジュウチヨウサン号同一G14連覇
 - ・アイヌ工芸伝承館「ウレシパ」オープン
 - ・平取町営球場リニューアルオープン
 - ・日ハム野球教室
- 5月**
 - ・令和元年スタート
 - ・すずらん観賞会
- 6月**
 - ・平取義経なるこ会 第28回YOSAKOIソーラン祭り
 - ・貫気別フアミリーフェスティバル
- 7月**
 - ・義経御神像修復後の特別拝観
 - ・平取町新国民健康保険病院オープン
 - ・モンキーリバーランド 幌尻まつり



- 8月**
 - ・ホツカイドウ競馬びらとりDAY
 - ・義経神社例大祭
 - ・チブサンケ
- 9月**
 - ・戦没者追悼式
 - ・沙流川まつり
 - ・軽音楽祭
- 10月**
 - ・二風谷フオーラム
 - ・アシリチエブノミ
- 11月**
 - ・平取町120年記念びらとり会交流会
 - ・平取町120年記念表彰式
 - ・文化祭



謹賀新年 川上町長 年頭あいさつ

新春お慶び申し上げます



謹んで年始のごあいさつを申し上げます。希望に満ちた新春を町民の皆さまとともに迎えられますことを心から感謝申し上げます。

旧年中は、皆さまからのあたたかいご支援ご協力を賜り、町政運営に取り組むことができたことに厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月には二風谷アイヌ文化博物館の周辺整備が完了し、「二風谷コタシバ」やアイヌ工芸伝承館「ウレシパ」がオープンし、観光、修学

旅行などで予想を上回る多くの来訪がありました。

5月には新たな元号「令和」での新しい時代の幕開けとなり、また、平取町120年の節目の年でもあったことから、多くの記念事業を行いながら、先人たちの業績を振り返りつつ、まちづくりへの想いを新たにしてきたところです。

7月には、2カ年で進めてきた国民健康保険病院の改築工事が完了し、開院することができました。新たな設備による充実した医療サービスの提供に努め、町民の皆さまの安全、安心な暮らしのよりどころとなるものと期待しております。

秋には本州において甚大な台風被害がありました。当町では幸い大きな災害もなく、基幹産業の農業も順調な出来高を得ることができました。

元号が変わって初めての新年を迎えた2020年は、二度目となる東京オリンピックの開催が予定され、その最終競技であ

るマラソンが札幌市で行われま

す。さらに、民族共生象徴空間ウポポイがオープンすることから、海外からの訪日客をはじめ、多くの人々が道内に押し寄せることが予想されています。国、道の大きな動きも見据えながら各種事業を展開してまいります。

昨年5月に新たに施行された「アイヌ施策推進法」により策定した「平取町アイヌ施策推進地域計画」に基づいた事業も本格的にスタートしてまいります。アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するため、アイヌ文化振興施策をさらに進めてまいります。

地方の自治体を取り巻く環境は、依然として厳しい状態が続くものと予想されますが、基本的には厳しい財政状況の中、事業の選択をしながら今年も総合計画に基づき、まちづくりを進める所存です。

住み良いまちづくりをめざし、町議会と連携の下、全力で町政に取り組んでまいります。

この新しい年が、町民の皆さまにとってより佳き年になりま

すよう心より祈念致します。年頭の挨拶とさせていただきます。

平取町長 川上 満

初春を お慶び申し上げます

町議会議長	千葉 良則
同 副議長	松澤 以久子
同 議員	金谷 満
同 議員	高山 修
同 議員	四戸 正彦
同 議員	中川 嘉久
同 議員	木村 英彦
同 議員	櫻井 幹也
同 議員	萱野 志朗
同 議員	井澤 敏郎
同 議員	鈴木 修二
同 議員	藤澤 佳宏
代表監査員	山田 和博
農業委員会	宮入 司
選挙管理委員会	川上 憲司
公平委員長	鈴木 透
国保運営協議会長	松澤 以久子
民生児童委員協議会長	和田 与志男
副町長	遠藤 桂一
教育長	庄野 剛

高齢者見守り町民の集い (12/6)

ふれあいセンターびらとりにおいて、平取町高齢者見守りネットワーク会議主催による「高齢者見守り町民の集い」が開催されました。講師に志田昌之氏（日本気象予報士会北海道支部副支部長）を迎え、町の防災ガイドマップの活かし方について講演がありました。



地球温暖化の影響による気候変動のお話から、ガイドマップに記載されている内容の解説まで、幅広い範囲をわかりやすくお話しいただきました。参加者は、普段からの見守り活動を、有事の際にどう活かすかを考えながら、真剣な眼差しで講演に聞き入っていました。

平取地域イオル再生事業【ミニ体験】(12/5)

アイヌ民族文化財団主催による「イオル再生事業ミニ体験」が開催されました。尾崎友香さんを講師に迎え、オヒョウの木の皮でブレスレッドを作りました。参加者は4つ編みで木の皮を編む行程を「難しい」と言いながらも、オリジナルのブレスレットを完成させ、みんなでブレスレッドをはめて記念撮影をしました。



デマンドバスがリニューアル (12/1)

アイヌ文様をあしらった新しい車両でのデマンド運行を実施しています。また、令和2年1月5日から3月31日まで新しいルートでの試験運行を開始します。通学以外の用途でどなたでも利用することができますので、ご利用をお待ちしています。（試験期間中は無料で利用できます）

運行エリア、運行時刻について詳細は折込チラシでお知らせします。詳細は、まちづくり課地域戦略係まで問合せください。



日高振興局長表彰 (11/15)

社会福祉事業への貢献により「令和元年度北海道日高振興局長表彰」（社会福祉関係）を、萱野志朗さん（二風谷）と鈴木修二さん（振内町）が受賞されました。平取町役場で伝達式が行われ、日高振興局の担当部長より表彰状が手渡されました。



子ども食堂 (11/30)

荷葉研修センターにおいて、「第7回子ども食堂」が開催され、地域の子どものお年寄りが協力してピザづくりをして、楽しいランチとなりました。

続いてトールペイントサークル「My tree」の小林明美さんの指導により、落花生を用いて、クリスマス向けの人形づくりも行われ、子どもたちは楽しそうに取り組んでいました。最後には、アイスクリームがプレゼントされるサプライズもあり、おなかも心も大満足な一日となりました。



平取町女性の集い (11/21)

中央公民館大ホールにおいて、「第40回平取町女性の集い」が開催されました。

公演では「任意後見人制度」についてとりあげ、寸劇により、手続きに関する話、自分の判断能力について意識を深めました。

門別警察署からは特殊詐欺に関する注意もあり、管内の詐欺被害の状況報告も伝えられました。

その後はゲストに招いた、ものまねタレントの「みはる」さんの天童よしみ、松田聖子、光浦靖子などのものまねに、会場内は大きな笑い声に包まれました。芸能発表の部門では「JAびらとり女性部フレッシュミズ」によるサザエさんダンス、「リリーベル・ネットワーク」と「ニ～ナ・スマイル」による「パブリカ・ダンス」が披露され、会場を大いに盛り上げていました。



まちのひろば

よい食一生 ● 食育だより

保健福祉課 保健推進係 No.21

『食品ロス』について知ろう!!

『食品ロス』とは、食べられるのに捨てられている食品のことです。
令和元年10月1日に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、消費者庁を中心に食品ロスの削減に関して、国・地方公共団体などの責務等や基本方針の策定、その他食品ロスの削減に関する施策の基本となる事項を定めることなど、食品ロス削減を総合的に推進することとなりました。この法律をうけ、各関係省庁での食品ロスに関する取組みがスタートしていく動きがあります。
食育の分野でも、以前から世界的に見られる飢餓と飽食などの栄養の格差や家庭ごみについてなどの問題が取り上げられていました。

食品ロスの半分が...『家庭から』

日本では、食べられるのに捨てられている食品（食品ロス）が年間600万トン以上発生しています。食品ロスの中には、手つかずの状態ですべて捨てられている食品もあります。
600万トンを超える食品のうち、約300万トンは家庭からのもので、日本人一人当たり換算すると、年間約50kg、毎日お茶碗約1杯分（約140g）の食べ物を捨てている計算になります。
食品ロス削減のためには、家庭での取組みが必要です！

【食品ロス削減に効果的な方法】

家庭からの食品ロスを計算し、記録するだけでも気づきが得られます。また、次のような取組みも有効です。

- 使いきる分だけを買う。
- 家にある食材・食品をチェックする。
- 肉や魚の保存方法を工夫する。

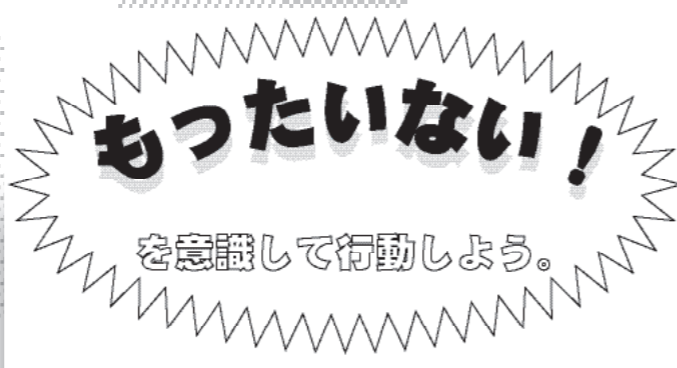
【調理で作りすぎない/余ったら作り替える】

もし、食べきれなかった場合は、他の料理に作り替えるなど献立や調理を工夫しましょう。
(※料理レシピサイトなどを上手に活用する!)

【食品の表示期限を正しく理解する】

食品の期限表示は『消費期限』と『賞味期限』の2種類があり、いずれも未開封の状態に表示されている保存方法で保存した場合の期限が表示されています。消費期限は「食べても安全な期限」、賞味期限は「おいしく食べることをできる期限」です。

賞味期限は、過ぎてもすぐに廃棄せず、自分で食べられるかどうかを判断することが大切です。



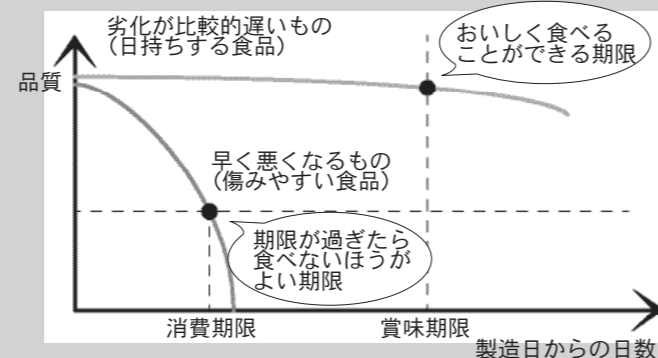
捨てられやすい食品ベスト3

- 1位 主食（ごはん、パン、麺類）
- 2位 野菜
- 3位 おかず

理由ベスト3

- 1位 『食べきれなかった』
- 2位 『傷ませてしまった』
- 3位 『賞味・消費期限が切れていた』

<消費期限と賞味期限のイメージ>



早寝・早起き・朝ごはんは、元気の基本!



まちのひろば

全日本ダンス教育指導者指導技術コンクール優勝 (11/17)

東京都の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて「第5回全日本ダンス教育指導者指導技術コンクール」が開催されました。北海道からは唯一、貫気別小学校の萩澤志穂里先生が決勝に進出し、見事に優勝し、「文部科学大臣賞」の栄に輝きました。

学校全体で盛り上げ手伝ってくれた仲間の皆さま、一生懸命取り組んでくれた子どもたち全員に感謝します。

ありがとうございました!

大会当日を振り返り...

決勝では約1000名の観客の前で、ダンスのプレゼンテーションをしました。緊張しましたが、全てを出し切り大会を楽しみ、参加できました。優勝が発表され、とても嬉しく忘れられない一日となりました。

Q. ダンス教育指導者指導技術コンクールとは?

ダンス教育指導者指導技術コンクール、今大会では、出場者一人で観客にダンスの振り付けをレクチャーし、ダンスが苦手な人、子ども関係なく全ての人に分かりやすく、楽しくダンスに参加できるようにするための、プレゼンテーションを競う大会です。



萩澤志穂里 先生

寄附ありがとうございます (12/9)

苫小牧信用金庫から町に寄附をいただきました。町長から感謝状が贈られました。あたたかいご厚意に感謝いたします。



地域貢献活動 (11/14)

(株)世紀東急工業苫小牧営業所の地域貢献活動に対し、町長から感謝状が贈られました。町施設の駐車場ライン引きをしていただき、感謝いたします。



自分との勝負 全国との勝負！

～スポーツ少年団員「体力テスト会」～



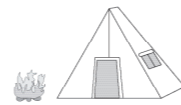
11月9日（土）、町民体育館で教育委員会とスポーツ少年団本部の共催による「体力テスト会」を開催し、町内の各スポーツ少年団員16名が参加しました。測定種目は例年どおり



日本体育協会が奨励する運動適正テスト5種目（立ち幅とび、時間往復走、上体おこし、腕立て伏せ、5分間走）を行いました。全国平均値や去年の自己記録と比較できるため、団員たちは記録更新を目指し、真剣に種目に臨んでいました。年齢ごとの種目別平均値では、立ち幅とびが、男女合わせた全年齢で3年連続して全国平均値を大きく上回りました。



自分の命は自分で守る ～子ども会防災キャンプ～



11月23日（土）～24日（日）、平取町子ども会育成連絡協議会主催の「胆振東部地震復興特別事業防災キャンプ」が荷菜多目的研修センターで開催され、子どもと保護者あわせて32名が参加しました。本事業は、昨年度、全国子ども会連合会および北海道子ども会育成連合会からの義援金により、防災の重要性や自分の命は自分で守るための知識と技術を身につけ、防災意識の向上を図ることを目的とし、町内の小中学生や保護者を対象として実施されました。



参加者が会場に到着すると、実際の避難所を想定し、避難者名簿に必要事項を記入後、平取高校のボランティアによる開会宣言でキャンプが開始されました。

このキャンプでは、陸上自衛隊第7師団（東千歳）、日高振興局、門別警察署、平取消防署の協力のもと、特殊車両の展示・乗車、段ボールベッドの組み立て、応急処置の方法、救助資機材の実演など、盛りだくさんのプログラムを体験しました。

また、夕食は自衛隊による炊き出しでカレーライスを食べ、実際の避難所生活を体感することができました。夜は会場内を消灯し、昨年の胆振東部地震の状況を回想しつつ、1日の振り返りを行い、参加者の感じたことや学んだことなどをグループ内で共有しました。宿泊は、避難所を想定して、段ボールベッドを組み立てて就寝しました。



24日は停電時でも作れる朝食（湯せんによるオムレツなど）を作り、その後、千歳市防災学習施設「そなえーる」を訪れ、地震の揺れや火災による煙からの避難などを体験後、帰町しました。

参加者は、普段からどのようなものを備えておけば良いか、災害発生時や避難所ではどのようなことに注意し、どのような行動をとれば良いのか、自分の命を守るためにはどうすれば良いのかなど、防災意識を高めるきっかけになりました。

スポーツ少年団研修事業 ～「サッカー」リーグ観戦～



11月2日（土）、平取町スポーツ少年団本部主催の平取町スポーツ少年団研修事業が開催されました。今回はサッカーJ1「コンサドーレ札幌VS名古屋グランパス」戦を少年団員や指導者25名が観戦しました。参加者はプロの白熱



した試合に興奮しながら熱心に応援していました。試合は日本代表の鈴木武蔵選手などがゴールを決め、「3-0」でコンサドーレ札幌が勝利！大いに会場が盛り上がりました。プロのプレーを間近で見た参加者はたくさんの刺激を受け、改めてスポーツの楽しさを実感できた1日となりました。



精米・みそ汁づくり・試食

～キッズチャレンジ THE あぐり～



11月16日（土）、今年度最後となる「キッズチャレンジ THE あぐり」が開催され、15名の参加がありました。今回は、10月に稲刈り、はさかけをした玄米の精米作業を体験した後、自分たちで作ったお米を試食しました。

初めに、田んぼの所有者でこの事業に協力いただいた去場の平目久人氏の精米所で、「JAびらとり青年部」の皆さんの指導のもと、精米と3kgの袋詰め作業を体験しました。玄米が精米機を通過して白米になる様子を興味深そうに見ていました。その後、中央公民館で貫気別もみじ加工部から提供してもらった「沙流川母味地」でみそ汁を作りました。炊き立てのご飯をみそ汁と納豆やふりかけなどといっしょに試食し、何杯もおかわりしていた子どももいました。

今年は約90kgのお米を収穫することでき、家族の方にも味わってもらうため、3kgずつ持って帰りました。全4回にわたる本事業をとおして、子どもたちは「食べる」ことの大切さや「食べ物」を大事にする心を学ぶことができました。



あいさつする子ども、本好きの子ども、 予習・復習する子どもになろう！

あいさつは人間関係のはじまりです

自分からあいさつすることで、積極性が高まります。相手からのあいさつを望むのではなく、自分のためにあいさつを行うことで、明るく前向きな姿勢をつくりましょう。

本(読書)は生活を豊かにし、世界が広がります

本(読書)は、語彙力や読解力、想像力を高め、様々なものの見方や考え方、表現の仕方などを学べます。学校や家庭において、本に触れる機会を増やし、たくさんの本を読むことのできる環境を作ることが大切です。また、新聞を読む習慣をつけると自分の世界が広がります。

授業の予習・復習から、主体的に学ぶ姿勢を身に付けましょう

授業の内容を確実に定着させるためには、授業の「振り返り」が重要です。学校では子どもの達成状況を的確に把握し、必要に応じて補充学習を行います。また、子どもたち自身が学習の意義を知り、家庭で予習や復習をしっかりと行い、さらに興味・関心を広げることも大切です。

学力調査に合わせて、児童生徒質問紙も実施されましたが全国・全道平均と比べながら顕著なものを紹介します。

□学級の友達と(生徒)の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることが出来ている。

小学校：42.2% 国30.3%・道28.6% 中学校：37.5% 国28.3%・道27.0% (A：そう思うの割合)

□先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う

小学校：97.8% 国91.7%・道90.4% 中学校：92.5% 国84.6%・道85.8%

□今住んでいる地域の行事に参加している

小学校：75.6% 国68.0%・道62.2% 中学校：80.0% 国50.6%・道44.8% (上記2問は、A：そう思う B：どちらかというと思うの合計の割合)

■一日(月曜日から金曜日)の平均的な学習時間1時間以上の割合

小学校：53.4% 国66.1%・道57.6% 中学校：47.5% 国69.8%・道63.2%

■一日(月曜日から金曜日)の平均的な読書時間30分以上の割合

小学校：31.1% 国39.8%・道38.1% 中学校：22.5% 国27.0%・道28.1%



道徳教育研究会
11/1 平取中学校



外国語教育研究会
11/6 振内小学校



道徳教育研究会
11/13 平取小学校



ICT教育研究会
11/20 紫雲古津小学校



ICT教育研究会
11/27 二風谷小学校

*依然として、一日の学習時間・読書時間に課題があります。その要因となるのが次の3点です。子ども自らが時間の使い方や自律ある生活を考え、一日一日を充実していこうと思う気持ちが大切です。

- ①一日のテレビなどの視聴時間
- ②一日のゲームの使用時間
- ③一日の通話・メール・インターネットなどの使用時間

平取町としての学力向上策(各学校での主な取組み例)

- ◆少人数指導による個に応じた指導の充実：TT(ティームティーチング)指導や習熟度別指導の充実
- ◆標準学力テスト実施(全学年)：児童生徒の実態把握による指導の充実
- ◆放課後子ども教室や休業中の学習サポート事業の充実：学習機会の提供
- ◆びらとり義経塾(通年開設) ◆チャレンジテストの効果的な利用 ◆朝読書(全校読書)の実施
- ◆各種検定事業参加(漢字検定・英語検定)：学習意欲の向上
- ◆家庭学習時間の設定 $\text{学年} \times 10\text{分} + 10\text{分}$ ◆家庭学習強化週間の設定
- ◆指導方法の工夫改善：課題設定・まとめ・振り返りの時間の設定、ノート指導、ICT機器の活用
- ◆学習規律の徹底(学習に必要な物・発表の仕方・姿勢や返事など)、教室環境の整備(黒板、棚など)

町内小学校は全道平均とほぼ同様、中学校は全国平均以上！ ～令和元年度 全国学力・学習状況調査結果から～

今年4月、文部科学省は全国の小学校6年生と中学校3年生の児童生徒を対象に、国語、算数・数学、英語の3教科で「全国学力・学習状況調査」を実施しました。国語、算数・数学は昨年度まで基礎基本を問う「A問題」と、応用力を見る「B問題」に分かれていましたが、本年度から一つに統合し、初めて英語を中3で実施しました。北海道教育委員会では調査結果を分析・考察し、全道平均正答率、管内別平均正答率を11月に公表しました。

小学校6年生の全国、全道、日高管内からみた平取町平均正答率との比較

◇小学校 %	全国平均正答率	全道平均正答率	日高管内平均正答率
相当高い +7以上			
高い +5～+7			
やや高い +3～+5			
ほぼ同様上位 +1～+3			国語・算数
ほぼ同様 -1～+1			
ほぼ同様下位 -3～-1	国語	国語・算数	
やや低い -5～-3	算数		
低い -7～-5			
相当低い -7以下			

□領域別にみると、国語「書くこと」で全国平均を上回り、算数「数と計算」で全道平均を上回っています。

■国語と算数を通じて、基礎基本の知識の定着と問題を読み解く力(読解力)を育てていくことが課題です。理由(根拠)を示して説明することや字数制限などの条件の中で記述できる力、表現力、情報活用能力を育てていくことが大切です。

中学校3年生の全国、全道、日高管内からみた平取町平均正答率との比較

◇中学校 %	全国平均正答率	全道平均正答率	日高管内平均正答率
相当高い +7以上			国語
高い +5～+7	国語	国語	
やや高い +3～+5			数学・英語
ほぼ同様上位 +1～+3		数学・英語	
ほぼ同様 -1～+1	数学・英語		
ほぼ同様下位 -3～-1			
やや低い -5～-3			
低い -7～-5			
相当低い -7以下			

□国語と英語では、全ての領域で全国平均および全道平均を上回っています。数学では「図形」「関数」で全国平均を上回っています。

■筋道立てて思考する力、日常生活の中の場面と数学を関連付けて表やグラフなどを活用して問題を解決する力を育てていくことが大切です。

**基礎基本、家庭学習の定着、テレビ・ゲーム・スマホの時間が課題、
読書習慣の定着、表現力(記述式問題)・コミュニケーション能力が鍵！**

今月のワンショット

平取町女性の集い JAびらとり女性部フレッシュミズ
サザエさんダンス (11/21)



役場関係
電話番号

- 平取町役場 ☎ 2-2221
- 総務課 (代表) ☎ 2-2221
- まちづくり課 ☎ 2-2222
- 産業課 ☎ 2-2223
- 税務課 ☎ 2-2224
- 出納室 ☎ 2-2225
- 建設水道課 ☎ 2-2226
- 議会事務局 ☎ 2-2227
- アイヌ施策推進課 ☎ 2-2341
- 農業委員会・土地改良区 ☎ 2-2695
- 観光商工課 ☎ 3-7703

すずらん短歌会詠草

ふれあいセンターびらとり
☎ 4-6111

「すずらん短歌会」入会者募集！
希望者は、中央公民館生涯学習課社会教育係へ

ふかふかの保されしふとんに 身をゆだね眠りにつきて幸せ夢見る	中沢 三二子
今ありて人の命は借り物よ 明日はなきものと誰も知らずに	相田 のぶ子
この年も自然の力は鬼畜なり 心ざわめく地獄をみたり	中原 千鶴子
悲しかり命の重さわからぬか 分別なしのむごき話よ	石川原 多満代
五十年経ちて輝く師の言葉 澱んだ水は腐ってしまう	熊谷 厚子

- 保健福祉課
- 保健推進係・福祉係 ☎ 4-6112
- 介護支援係・介護保険係 ☎ 4-6114
- 町民課 ☎ 4-6113
- 児童館 ☎ 2-3026
- 子ども発達支援センター ☎ 2-3400
- 地域包括支援センター
「ほほえみ」 ☎ 2-3700
- 図書館 ☎ 4-6666
- 平取町教育委員会
- 中央公民館 ☎ 2-2619
- 町民体育館 ☎ 2-2749
- 二風谷アイヌ文化博物館 ☎ 2-2892
- 沙流川歴史館 ☎ 2-4085
- 役場振内支所 ☎ 3-3211
- 役場貫気別支所 ☎ 5-5204
- 平取町国民健康保険病院 ☎ 2-2201
- 平取町社会福祉協議会 ☎ 4-2267
- 平取町外2町衛生施設組合 ☎ 2-2024
- 平取消防署 ☎ 2-2361



まちの人口と世帯数

		(前月比)
人口	4,957 人	(- 21 人)
男	2,424 人	(- 3 人)
女	2,533 人	(- 18 人)
世帯数	2,529 世帯	(- 10 世帯)

※ 11 月末現在の住民基本台帳による



ホームページ QR コード